

# 政策シート

(政策名) 動物園の再生  
(予算費目名) 動物園費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
  - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 市民が集う活力ある都市づくり

◇政策の概要

市民が憩い楽しめる動物園とするための運営を行う。  
動物園の再生に向けて運営の改善を続け、入園者数の増加が来園者便益施設や獣舎などの改善へとつながる好循環を生み出すことができるよう、職員が意思を共有し、努力を続けます。  
老朽化した園内施設については、動物の福祉向上、特性・特徴などの魅力を引き出す展示ができる飼育施設や、来園者の快適性向上を図る休憩施設などの便益施設への再整備を進める。  
来園者、リピーターの増加と満足度向上を図るため、動物ガイドや動物とのふれあい、クイズラリーなどのイベントを充実させる。  
また、ボランティア活動やサポーター制度の拡充など、市民の動物園として市民が気軽に関わることができる運営をすすめる。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	768,598	712,626	353,999	592,889
決算	311,888	310,705	281,730	
人件費(A)	255,120	265,720	259,060	261,960
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	567,008	576,425	540,790	854,849

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
入園者数	人	400,000	目標	355,000	360,000	365,000	370,000
			実績	413,509	398,857	372,602	
イベント参加率	%	30	目標	30	30	30	
			実績	38.6	35.8	34.6	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

市民が憩い楽しめる動物園とするための運営を行った。  
平成28年9月に策定した浜松市動物園再生基本計画に基づき事業を展開した。  
動物園の再生に向けて運営の改善を続け、入園者数の増加が来園者便益施設や獣舎などの改善へとつながる好循環を生み出すことができるよう、職員が意思の共有を図った。  
来園者、リピーターの増加と満足度向上を図るため、動物ガイドや動物とのふれあい、クイズラリー、動物選挙などのイベントを実施した。  
また、ボランティア活動やサポーター制度の拡充など、市民の動物園として市民が気軽に関わることができる運営を進めた。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

平成26年度から取り組んできた動物園再生計画の策定を通じて、職員間で再生の方向性を共有することができた。運営面では、改善できることは先行して改善を図った。  
入園者数は、10月の天候不順及び1月の低温のため、昨年を下回ったが、イベントの開催等各種取り組みにより目標をほぼ達成することができた。  
いのちの教育事業として、以前より校外学習や遠足用として実施したイベントを含め、教育プログラム(19本)の体系を構築し、平成29年4月から運用できるようにし、多くの方に楽しく学んでもらうことができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	動物園施設維持管理事業			○		294,605	138,925	20.8	1.4		1.8
2	動物愛護教育センター事業			○		104,752	34,932	9.1	0.3		1.8
3	各種イベント開催事業					11,839	6,219	0.7	0.2		
4	傷病野生鳥獣保護事業					5,400	940	0.3	0.5		0.2
5	動物購入事業					12,100	10,000	0.3			
6	施設整備事業		○○			81,526	64,606	2.0	0.5		0.4
7	公園敷地借上事業					18,448	17,048	0.2			
8	公園用地取得事業					318,811	318,111	0.1			
9	動物園施設整備基金積立金					702	2	0.1			
10	動物園運営経費					6,666	2,106	0.6	0.1		
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						854,849	592,889	34.2	3.0		4.2

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 動物園施設維持管理事業

## ◇事業目的・事業対象

入園者が安全で安心して快適に利用できるように施設の維持管理をおこない、あわせて市民への憩いの場を提供し、命の大切さ・きずなの尊さを伝え、豊かな社会性を養うことを目的とする。

## ◇事業の概要

- 入園者が快適に利用してもらうための維持管理
- 展示動物等の飼養管理
- 希少動物の飼育・繁殖及び調査研究
- 飼育実習生の受入・・・県西部地区(掛川市以西)の小学生から大学・専門学校生を対象として行なう。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	138,124	136,007	136,832	138,925
	決算	135,776	135,719	133,631	
	国・県支出				
	市債				
	その他	73,350	66,050	61,051	63,405
	一般財源	62,426	69,669	72,580	75,520
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		154,300	154,460	152,900	155,680
人工	正規	20.9	20.9	20.9	20.8
	再任用(h31)	0.7	0.9	0.9	1.4
	再任用(h26)	0.6	0.6		
	非常勤	1.4	1.2	1.2	1.8

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
入園者数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	355,000	360,000	365,000	370,000		400,000
実績値	413,509	398,857	372,602			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- 入園者が快適に利用してもらうための業務委託 汚水処理施設維持管理業務
- 展示動物等の飼養管理
- 飼育実習生の受入・・・県西部地区(掛川市以西)の小学生から大学・専門学校生を対象として行なった。  
中学生・高校生 30人、大学・専門学校 14人、その他(教員等) 2人
- 希少動物の飼育・繁殖及び調査研究

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・入園者数 372,602人
- ・繁殖動物 クロザル 1頭、コモンマーモセット 4頭、リスザル 1頭、アシカ 1頭、キリン 1頭、オシドリ 4羽
- ・飼養管理の効率化及び飼育作業環境の維持を図るため、冷蔵庫等備品の更新を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

引き続き、入園者が安全で安心して快適に利用できるよう施設の維持管理、展示動物たちの飼養管理等を行う。近年、動物の展示方法が個体展示から行動展示へと変化しているが、対応するには大幅な施設改修が伴う。現在の飼育動物種、飼育施設をもとに動物の魅力を伝える展示手法(解説も含めて)への改善を常に心掛ける必要がある。動物園が市民の憩いの場としてだけでなく、教育との連携をより一層図っていく。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

引き続き、入園者が安全で安心して快適に利用できるよう施設の維持管理、展示動物たちの飼養管理等を行う。来園者ニーズを的確にとらえ、運営改善を常に念頭に置き、魅力あるイベントの開催や、動物解説などの充実を図ることで、さらなる入園者数の増加が施設整備につながる好循環を目指す。

## 事業シート (事業名) 動物愛護教育センター事業

### ◇事業目的・事業対象

家庭動物の飼育指導や新たな飼い主への譲渡などの事業を行なう動物愛護・教育センターの効率的な施設管理を行うとともに、動物園の第2種事業所として効果的な事業実施体制を構築する。また、家庭動物の譲渡活動及び飼主責任の啓発を中心とした愛護事業を進めると同時に、動物を切り口とした教育事業の展開を図る。

### ◇事業の概要

#### ①庁舎管理経費

電気料、設備保守委託、清掃業務委託 など

#### ②動物愛護法関係事業

迷い犬猫等の保護・運搬業務委託、電話相談業務委託、負傷動物等保護収容措置業務委託、動物ボランティア譲渡活動推進事業、野良猫との共生推進事業、収容動物飼料費 など

#### ③教育事業の推進

学年別・習熟度別、動物種別のプログラムを作成したDVD等を使用し、動物園、各教育機関等と連携し、「いのちの教育事業」を実施する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H26	—	一般会計	自治事務(法令義務)		—	—	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	37,715	37,024	33,705	34,932
	決算	33,159	33,519	30,461	
	国・県支出				
	市債				
	その他	182	96	113	155
	一般財源	32,977	33,423	30,348	34,777
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		69,440	76,680	71,920	69,820
人工	正規	9.2	10.2	9.6	9.1
	再任用(h31)		0.3	0.3	0.3
	再任用(h26)				
	非常勤	1.8	1.5	1.3	1.8

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
犬の返還譲渡率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	92	94	96	97		98
実績値	93.1	96	97			
猫の生存率						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	32	45	56	58		60
実績値	44	56	64			
教育活動実施回数(回/人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	25	25/1,000	60/1,600	110/5,000		80/2,000
実績値	16/766	51/1,559	120/5,328			
年度						
目標値	H27	H28	H29	H30	H31	H36
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

<p>①庁舎管理経費 電気料、設備保守委託、清掃業務委託 など</p> <p>②動物愛護法関係事業 迷い犬猫等の保護・運搬業務委託、電話相談業務委託、負傷動物等保護収容措置業務委託、動物ボランティア譲渡活動推進事業、野良猫との共生推進事業、収容動物飼料費 など</p> <p>③教育事業の推進 教育関係者等と協力していのちの教育事業プログラムの拡充を図る。</p>
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度  <input type="text" value="進んでいる"/></p> <p>・譲渡事業: 動物ボランティア譲渡活動推進事業及びセンターでの譲渡推進の結果、殺処分数が減少。 課題としては、攻撃的性質の犬及び野犬の存在等により殺処分ゼロが未だ困難である。 また、所有者不明子猫の引取り数を減少させていくことが生存率を上昇に繋がる。</p> <p>・教育事業: 動物園とも協力し、件数及び受講者が増加。 教育プログラム冊子の作成 教育委員会及び各学校への周知を行い増加を目指す。</p> <p>・その他 飼い主啓発事業: しつけ方講習会(17回)、譲渡時の飼い主責任啓発指導実施、浜松市動物愛護推進員委嘱、野良猫との共生推進事業: 地域の環境悪化防止とともに所有者不明子猫の引取り数の削減に寄与した。</p>
--

・事業の見直し

<p>実施結果          大項目 <input type="text" value="改善"/> 小項目 <input type="text" value="その他"/> / <input type="text" value=""/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>国は、殺処分の報告方法(定義)について、見直しがされており、譲渡適正がある動物について殺処分をしないように言われている。センターが開所してから殺処分数は年々削減してきたが今後については、収容動物過多時の対応、譲渡適正判断の適正化、動物ボランティア・獣医師会等の関係団体との連携、飼い主啓発事業及び教育事業の継続・拡大が重要となる。</p>
<p>今後の方向性          大項目 <input type="text" value="改善"/> 小項目 <input type="text" value="その他"/> / <input type="text" value=""/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>殺処分頭数をゼロに近づけるために、動物愛護教育センターボランティアの募集を開始し、センター収容動物の飼養管理などを市民と協働して行うことで目標に近づけていく必要がある。 また、現在、協力をいただいている動物団体ボランティア、獣医師会、動物取扱業者等の人的資源を活用し、飼い主責任の啓発、譲渡事業、教育事業に取り組む。そして、「いのちの教育事業」で作成したDVD等を使い、動物園と協力して子供達に動物愛護を育むために、動物園動物や犬猫を題材にした講座を開催する。</p>

# 事業シート (事業名) 各種イベント開催事業

## ◇事業目的・事業対象

入園者が各種のイベントに楽しみながら参加して、動物に関する知識を深めるとともに、動物愛護や自然保護に対する意識を高めてもらう。

## ◇事業の概要

入園者を対象とした写生大会、写真コンクール、ナイトZOO、クイズラリー、ニューイヤーフェスティバル、動物へのエサやり体験等を実施する。また、定例イベントのほか、集客に結びつくイベントを随時企画・開催する。平成30年度は、特別企画展として「どうぶつのほね ～わくわく×ふむふむ‘いのち’を学ぶ動物‘楽’校～」を実施する。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	3,263	3,987	5,976	6,219
	決算	3,137	3,795	5,433	
	国・県支出				
	市債				
	その他		3,795	5,433	6,219
	一般財源	3,137			
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		5,440	5,440	4,920	5,620
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.7
	再任用(h31)	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(h26)	0.2	0.2		
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
イベント参加率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	30	30	30	30		30
実績値	38.6	35.8	34.6			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

入園者を対象とした写生大会、写真コンクール、ナイトZOO、クイズラリー、ニューイヤーフエスティバル、動物へのエサやり体験等を実施する。また定例イベントのほか、集客に結びつくイベントを随時企画・開催する。平成29年度は、特別イベントとして「ノスタルジック写真ギャラリー」を実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

定例的な春・秋の写生大会、写真コンクール、ナイトZOOなどの開催に加え、平成29年度は、特別イベントとして「ノスタルジック写真ギャラリー」を実施した。また、アミメキリン(オス)が誕生し、個体の公開、愛称の募集、命名式などを実施した。各種イベント参加率(イベント参加者/総入場者数)は34.6%となった。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

各種イベントを通して、入園者に間近に見る野生動物の不思議や動物愛護や自然保護についての意識啓発をするための教育活動を引き続き行う。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

野生動物に関する知識を広めるとともに動物愛護や自然保護に対する意識を高めてもらうイベントやオリジナリティのあるイベントを継続して開催し、来園者ニーズに対応するとともに集客力を高めていく。

また、官民連携事業や産学官連携事業等を実施し、魅力ある動物園をPRし入園者数の増加を図る。

## 事業シート (事業名) 傷病野生鳥獣保護事業

### ◇事業目的・事業対象

静岡県から業務委託を受け、傷ついたり、病気を患った野生の鳥や獣を保護(収容)・治療し、自然へ復帰させることにより、自然環境や生態系を保全する。

### ◇事業の概要

静岡県からの業務委託に基づき、県西部区域から持ち込まれた、傷ついたり、病気を患った鳥や獣を保護(収容)・治療し、自然復帰可能なものを放鳥獣する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	—	一般会計	自治事務(その他)	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律	—	—	—

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	922	922	940	940
	決算	922	922	940	940
	国・県支出	922	922	940	940
	市債				
	その他				
一般財源					
一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		4,060	4,460	4,460	4,460
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)		0.5	0.5	0.5
	再任用(h26)				
	非常勤	0.7	0.2	0.2	0.2

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
傷病鳥獣自然復帰率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	30	30	30	30		30
実績値	23.6	38.5	24.4			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

静岡県からの業務委託に基づき、県西部区域から持ち込まれた、傷ついたり、病気を患った鳥や獣を保護(収容)・治療し、自然復帰可能なものを放鳥獣する。  
平成29年度は鳥類39羽(哺乳類0頭)を受け入れ、鳥類10羽を自然復帰させることができた。  
また、静岡県との協議、連携により、保護対象外鳥獣の持ち込み相談が減少。市民への啓発が進んでいる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

H29傷病野生鳥獣保護状況

保護頭、羽数( )内は自然復帰頭・羽数

・哺乳類 0(0) ・鳥類 41(10) …計41(10) 24.0%

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

引き続き、契約内容に基づき受託事業を行う。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

保護された傷病野生鳥獣の収容・治療は、受託業務として動物園が行うが、保護の可否についての判断や治療後の放鳥獣は、県が行うこととなっている。

今後も市民などからの通報に適切に対応できるよう、県と連携し、情報の共有化と業務の適正化を図るとともに、市民への鳥獣保護思想の普及・啓発に努めていく。

また、委託料の増額について、県と協議していく。

## 事業シート (事業名) 動物購入事業

### ◇事業目的・事業対象

展示動物導入計画に沿った展示動物の購入及び他園との搬出入、動物交換などを行う。

### ◇事業の概要

展示動物の充実と繁殖・種の保存を図るため、他園との動物交換、動物賃貸、新規動物購入や死亡、動物の補充などを行う。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S28	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	3,000	9,500	10,000	10,000
	決算	5,675	1,544	1,689	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	5,675	1,544	1,689	10,000
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	2,100	2,100	2,100	2,100
	正規	0.3	0.3	0.3	0.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
契約件数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1	3	1	5		1
実績値	2	2	2			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

展示動物の充実と繁殖・種の保存を図るため、他園との動物交換、動物賃貸、新規動物購入や死亡、動物の補充などを行う。  
 キリンの仔を1頭売却し、その後、新たに1頭誕生。  
 繁殖を図る目的で東山動物園(名古屋市)、円山動物園(札幌市)からユキヒョウを1頭ずつ、鯖江市西山動物園からフランソワルトン雄1頭、レッサーパンダ雌1頭を借り受けた。また、クロキツネザル雄1頭、フランソワルトン雄1頭を日本モンキーセンターへ貸付、レッサーパンダ雌1頭を市川市動物園へ搬出した。

・事業の成果と課題

指標の達成度  
  
 平成29年度実績  
 購入動物:ウサギ♀6、ツクシガモ♂1♀2  
 借受動物:ユキヒョウ♂1(名古屋市)、ユキヒョウ♀1(札幌市)、レッサーパンダ♀1(鯖江市)、フランソワルトン♂1(鯖江市)  
 貸付動物:フランソワルトン♂1・クロキツネザル♂1(犬山モンキーセンター)、シシオザル♀1(横浜市)  
 契約解除:レッサーパンダ♀1(市川市へ移動)  
 動物交換:エミュー♀1とハクガン♀1・カリガネ1ペアを豊橋市と交換  
 譲渡し:エミュー♀1(飯田市)  
 動物売却:キリン♂1(業者へ売却)

・事業の見直し

実施結果  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

希少動物の繁殖は、種の保存のみならず動物園の魅力の拡大につながることから、状況を的確に判断して、最小の経費で導入し効果が上がるように努める。

今後の方向性  
 大項目  小項目  /  事業費  人工

動物園再生計画で策定したコレクションプランに沿って、飼育体制を整え、動物の導入を図っていく。

# 事業シート (事業名) 施設整備事業

## ◇事業目的・事業対象

ユニバーサルデザインに配慮した、入園者が安全で安心して動物を観覧できるように施設の再整備を進め、併せて展示動物の生態、行動、福祉に配慮した飼育環境を提供する。

## ◇事業の概要

### 【重点戦略項目No.95】

浜松市動物園は、松城町(現在の浜松城公園)に昭和25年11月に県内初の動物園として開園したが、敷地が狭いことや施設の老朽化、あるいは浜松城公園の整備が進んできたことから、昭和58年4月に現在の館山寺総合公園内に移転・開園しました。館山寺総合公園への移転・開園後、30年余が経過しており、施設や設備の老朽化が著しいため、施設の維持管理とともに、優先順位を決め、計画的に施設整備・改修をしていく必要がある。そのような中、平成28年度に「いのちの教育」を柱とした浜松市動物園再生基本計画と策定した。この動物園再生基本計画に基づき、施設整備を進める。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	自治事務(その他)		—	○	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	39,700	39,000	88,583	64,606
	決算	102,954	38,847	86,151	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	102,954	38,847	86,151	64,606
	一般会計繰入金				
人件費 (千円)		11,020	13,820	14,000	16,920
人工	正規	1.5	1.9	2.0	2.0
	再任用(h31)				0.5
	再任用(h26)	0.2	0.2		
	非常勤				0.4

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
整備件数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1	1	1	1		1
実績値	1	1	1			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
汚水処理施設及びいのちのふれあいゾーンの整備						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	—	整備計画の策定	基本設計・地質調査	実施設計		
実績値	—	検討	基本設計・地質調査			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

平成29年度の主な工事としては、汚水処理・堆肥化設備改修工事と動物園口の自動改札機更新工事を行った。いのちのふれあいゾーン整備事業については、基本設計を委託し、その中で地質調査も実施した。また、汚水処理施設整備工事基本設計業務委託(水槽コンクリート躯体調査、水槽水抜き業務含む)を実施した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

主な工事

- ・汚水処理・堆肥化施設改修工事
- ・自動改札機更新工事(動物園口)

委託業務

- ・いのちのふれあいゾーン整備事業基本計画委託業務(地質調査含む)
- ・汚水処理施設整備工事基本設計業務委託(水槽コンクリート躯体調査、水槽水抜き業務含む)

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

引き続き、老朽化による施設・設備の修繕を計画的に行う。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

引き続き、老朽化による施設・設備の修繕を計画的に行う。

平成28年9月に策定した動物園再生基本計画に基づき、汚水処理施設等、基盤施設の抜本的な整備及びいのちのふれあいゾーンの整備を行うことから、事業費・人工とも拡大させる。

## 補助シート (事業名) 施設整備事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
95	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化施設改修手法の検討(来園者便益施設、獣舎、電気・汚水処理施設等)</li> <li>・継続飼育動物の検討。</li> <li>・動物展示手法、ゾーニングの検討。</li> <li>・園内のユニバーサルデザイン化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生基本計画に基づき、いのちの教育事業等の事業を実施、推進する。</li> <li>・再生基本計画に基づき、基盤設備、獣舎等施設整備について検討する。</li> </ul>	いのちのふれあいゾーンの基本計画・地質調査及び汚水処理施設の基本設計を進める。	いのちのふれあいゾーンの実施設設計を進め、汚水処理施設については平成31年度以降に実施設計を予定しているため平成30年度は予算要求に向けて準備する。
〇〇				

# 事業シート (事業名) 公園敷地借上事業

## ◇事業目的・事業対象

将来に向けて、引き続き館山寺総合公園を市民等の憩い場として提供するため。

## ◇事業の概要

館山寺総合公園の民有地を有料で借り上げる。

借地内訳

H30.4.1現在(H29.4.1現在)

借地面積 89,841㎡ (90,320㎡)

所有者数 27名-28件 (28名-29件)

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S54	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	25,950	23,537	18,323	17,048
	決算	23,601	20,630	17,144	
	国・県支出				
	市債				
その他	一般財源	23,601	20,630	17,144	17,048
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		2,100	2,100	2,100	1,400
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
公園内民有地の借り上げ契約率						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

館山寺総合公園の民有地を有料で借り上げる。  
借地内訳  
H29.4.1現在(H28.4.1現在)  
借地面積 90,320㎡ (121,795㎡)  
所有者数 28名-29件 (30名-31件)

・事業の成果と課題

指標の達成度

館山寺総合公園用地を借り上げるにより、市民等の憩いの場として提供し、動物や花木を通して多くの人に感動を与え、いのちの大切さや自然環境保護を伝える事業が安定的に維持、継続できた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

館山寺総合公園の安定的に継続して運用するため、浜松市資産経営推進方針に基づいて、適正な価格で借地契約を行う一方で、予算を投入し借地の解消に努める。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

館山寺総合公園用地の借地地権者からの土地買取り申し出に対しては、借地解消に向けて積極的な取得を進める。

# 事業シート (事業名) 公園用地取得事業

## ◇事業目的・事業対象

将来に向けて館山寺総合公園を市民等の憩い場として提供するため、現在の借地を買収し市有地とする。

## ◇事業の概要

館山寺総合公園用地(フラワーパーク・動物園)内の借地部分の土地取得を行なう。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	昭和58年度		—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	518,131	460,695	57,534	318,111
	決算	4,992	73,867	4,241	
	国・県支出				
	市債				
	その他		73,867	4,241	318,111
	一般財源	4,992			
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		1,400	1,400	1,400	700
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
公園用地買取契約						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	32	31	29	28		0
実績値	1	2	1			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

館山寺総合公園用地(フラワーパーク・動物園)内の借地部分の土地取得を行なった。

・事業の成果と課題

指標の達成度

借地契約件数29件中、1件について売買契約が成立し、件数で3%、面積で0.5%の借地が解消できた。  
これにより

OH25当初借地総面積244,435㎡中、借地解消面積154,593㎡ 合計執行率 63.2%

OH25当初借地料54,128,448円がH29年度借地料17,143,725円となり、36,984,723円の借地料を減額できた。  
減額率68.3%

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後も継続して本事業を実施し借地解消を図る。

## 事業シート (事業名) 動物園施設整備基金積立金

### ◇事業目的・事業対象

浜松市動物園施設整備基金の適正な管理をおこなう。

### ◇事業の概要

動物園の施設拡充費、改善費及び動物の購入費に充てるため、元金と基金運用収入を積み立てる。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S45	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	16	5	3	2
	決算	22	4	3	
	国・県支出				
	市債				
その他	一般財源	22	4	3	2
	一般会計繰入金				
	人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年間積立金額(千円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	16	16	2	2		2
実績値	23	5	3			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

動物園の施設拡充費、改善費及び動物の購入費に充てるため、基金運用収入を積み立てる。  
元金に対する運用収入が確定し、補正(1千円)した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

施設整備基金 現額 15,550,177円(H29.3末現在) 上半期利子78円 下半期利子2,493円 計2,571円

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

引き続き、基金の管理を継続する。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

基金の管理を継続する。

# 事業シート (事業名) 動物園運営経費

## ◇事業目的・事業対象

安全で適正な施設管理運営を行う。

## ◇事業の概要

動物園の運営に必要な諸経費、負担金などにあてる。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S58	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,777	1,949	2,103	2,106
	決算	1,650	1,858	2,037	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	1,650	1,858	2,037	2,106
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	4,560	4,560	4,560	4,560
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.6
	再任用(h31)	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

動物園の運営に必要な諸経費、負担金などにあてる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

動物園を運営する経費の中で、他の園館の展示動物の情報を得ることが本事業の大きな目的である。特に、(社)日本動物園水族館協会主催の総会、獣医研究会、飼育員研修会などへ参加して、様々な動物の治療方法やトレーニング方法などの情報を得ることができ、それを当園の展示動物に対して行うことで、効率的かつ安全な治療ができるなどの効果があった。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

展示動物の飼育や治療方法などの技術や飼育、トレーニング要領は、常にブラッシュアップされ効率化するので、今後も情報を交換し園の適正な運営を確保する。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

展示動物の飼育や治療方法などの技術や飼育、トレーニング要領は、常にブラッシュアップされ効率化するので、今後も情報を交換し園の適正な運営を確保する。